

2023年度

事業概要

交通局

目 次

I	交通局の概要	1
II	組織と事務分掌	2
III	2023年度主要事業	4

交通局の概要

1. 局長 城南 雅一
2. 局の職員数 1,014人 (2023年4月1日現在)
3. 2023年度予算の概要

(1) 自動車事業会計 予算

①収益的収入及び支出 (単位：千円、税込)

収入		支出	
款	金額	款	金額
1 自動車事業収益	10,735,652	1 自動車事業費	11,678,188
収入合計	10,735,652	支出合計	11,678,188

当年度純損益 (税抜) : △1,035,900 千円

②資本的収入及び支出 (単位：千円、税込)

収入		支出	
款	金額	款	金額
1 資本的収入	1,590,551	1 資本的支出	1,742,333
収入合計	1,590,551	支出合計	1,742,333

(参考) 累積資金不足額 : 1,718,416 円

資金不足比率 : 19.7%

(2) 高速鉄道事業会計 予算

①収益的収入及び支出 (単位：千円、税込)

収入		支出	
款	金額	款	金額
1 高速鉄道事業収益	25,871,643	1 高速鉄道事業費	30,183,906
収入合計	25,871,643	支出合計	30,183,906

当年度純損益 (税抜) : △5,391,982 千円

②資本的収入及び支出 (単位：千円、税込)

収入		支出	
款	金額	款	金額
1 資本的収入	23,298,162	1 資本的支出	33,689,979
収入合計	23,298,162	支出合計	33,689,979

(参考) 累積資金不足額 : 1,037,680 千円

交通局

経営企画課

- (1)局所管事務の運営管理に係る総括調整に関する事。
- (2)例規の制定、改廃、編さん及び保存に関する事。
- (3)経理契約に関する事。
- (4)出納事務に関する事。
- (5)公印の管守に関する事。
- (6)財政計画及び資金計画に関する事。
- (7)予算、決算に関する事。
- (8)交通事業基金に関する事。
- (9)局の基本的施策の立案及び各種事業計画の調整に関する事。
- (10)事業の経営改善に関する事。
- (11)交通事業審議会に関する事。
- (12)乗合自動車（一般乗合）及び高速鉄道の運賃制度（他事業者との調整を含む。）に関する事。
- (13)交通情報システムの計画・調整、運用、分析に関する事。
- (14)職員の人事に関する事。
- (15)職員の任免、分限及び懲戒、服務その他身分に関する事。
- (16)労働組合に関する事。
- (17)労働条件の調整及び労働事情の調査に関する事。
- (18)職員の給与の支給に関する事。
- (19)被服貸与に関する事。
- (20)職員への研修（他の所管に属するものを除く）の企画、調査及び実施に関する事。

営業推進課

- (1)運輸収入、営業統計及び営業案内に関する事。
- (2)定期券発売及び遺留品に関する事。
- (3)自動車事業の乗車券及び乗車料金等の収入（営業所の取扱い分を含む。）に関する事。
- (4)乗客増対策及び収益力の向上に関する事。
- (5)KOBE カード協議会に関する事。
- (6)広告及び事業用宣伝に関する事。
- (7)附帯事業の調整及び実施に関する事。
- (8)既設テナントビル等に係る事務に関する事。
- (9)不動産の取得、借入、管理、処分（事業の用に供されているものの管理を除く。）に関する事。

自動車部

市バス運輸サービス課

- (1)自動車の運転計画に関する事。
- (2)自動車事業の事業計画の策定に関する事。
- (3)バスターミナル整備に関する計画及び調整、停留所施設の設置等に関する事。
- (4)営業所の運営に係る総括調整に関する事。
- (5)お客様サービスの向上及び自動車職員のマナーの向上に関する事。
- (6)自動車職員の服務指導及び業務指導の基本に関する事。
- (7)安全運転の指導及び運転事故の防止対策に関する事。
- (8)事業上生じた事故の処理及び損害賠償に関する事。
- (9)市バス営業所管理の委託に関する評価委員会に関する事。
- (10)自動車職員への研修の企画、調査及び実施に関する事。

市バス車両課

- (1)自動車車両の総合整備計画、点検整備及び修理、検査に関する事。
- (2)魚崎、中央南、松原、落合、清水が丘、西神各委託営業所車庫の整備関係業務の管理・検収に関する事。
- (3)自動車車両の新車購入業務及び安全対策処理対応業務に関する事。

- (4)自動車車両の部品の製作及び修理に関する事。
- (5)主務官庁への文書の作成、進達及び車両購入等における国庫補助申請に関する事。
- (6)自動車車両整備施設の整備、改良、保守管理に関する事。

営業所

- (1)配属車両の配操車及び運行管理に関する事。
 - (2)お客様サービスに関する事。
 - (3)所属職員の勤務割当、服務指導及び業務指導に関する事。
 - (4)定期券を除く乗車券類（整理券を含む。）の発売、整理、保管及び処分に関する事。
 - (5)乗車料金等の収入に関する事。
 - (6)手許保管金及び両替・通報用現金の出納整理に関する事。
 - (7)設備及び備品等の軽微な補修に関する事。
 - (8)路線の軽微な維持整備及び安全対策に関する事。
 - (9)停留所施設及びバスターミナル施設の管理に関する事。
 - (10)走行環境の改善に関する関係機関との連絡調整に関する事。
 - (11)事業上生じた事故の処理（他の所管に属するものを除く）に関する事。
- [石屋川・中央・垂水]

高速鉄道部

地下鉄運輸サービス課

- (1)高速鉄道に係る総括調整に関する事
- (2)高速鉄道の事故防止の総合計画に関する事。
- (3)高速鉄道の事業上生じた事故の総合調整に関する事。
- (4)列車及び駅の巡回応援に関する事。
- (5)安全マネジメントの推進に関する事。
- (6)高速鉄道職員への研修の企画、調査及び実施に関する事。

施設課

- (1)高速鉄道事業に係る計画、調査、協議、沿道被害の補償に関する事。
- (2)高速鉄道土木施設、建築施設及び設備（他の所管に属するものを除く。）の保守、調査、計画、設計及び工事に関する事。
- (3)(2)を除く建築施設、建築付帯設備の営繕工事及び土木工事に関する事。

電気システム課

- (1)高速鉄道の運行に係る電気施設（信号保安、通信設備、電力線路設備、変電設備）に関する調査、設計、工事及び関係手続きに関する事。

地下鉄車両課

- (1)高速鉄道の車両の調査、計画及び設計に関する事。
- (2)高速鉄道の車両の保守管理に関する事。
- (3)高速鉄道の車両保守に係る総合計画に関する事。
- (4)高速鉄道の車両検修施設の工事に関する事。
- (5)高速鉄道の検車設備の保守管理に関する事。
- (6)高速鉄道の車庫構内施設の保安管理に関する事。
- (7)高速鉄道の車庫構内運転に関する事。

運転統括所

<鉄道運行係>

- (1)所の運営管理に係る総括調整に関する事
- (2)高速鉄道の運転計画・運行管理計画に関する事。
- (3)他鉄道との相互直通運輸計画調整に関する事。
- (4)業務ビル（名谷、荊藻）の管理に関する事。

<運転指令区>

- (1)高速鉄道の運行管理に関すること。
 - (2)高速鉄道の運転指令に関すること。
 - (3)所属職員の勤務割当、業務指導及び教育訓練に関すること。
- <乗務区>
- (1)高速鉄道の列車又は車両の運転に関すること。
 - (2)高速鉄道の車内乗客の接遇及び取扱いに関すること。
 - (3)所属職員の勤務割当、業務指導及び教育訓練に関すること。
 - (4)高速鉄道の車内の遺留品に関すること。
 - (5)高速鉄道の運転事故の現場処理（当初対応）に関すること。
 - (6)高速鉄道の列車又は車両の管理（ただし、運転中に限る。）に関すること。

駅務統括所

<お客さまサービス係>

- (1)所の運営管理に係る総括調整に関すること。
- (2)お客様サービスの向上に関すること。
- (3)乗車券及び乗車料金等の収入に関すること。
- (4)駅業務管理の委託に関すること。

<管区>

- (1)高速鉄道の駅構内（留置車両を含む。）の管理に関すること。
- (2)高速鉄道の乗車券の発売及び整理並びに乗車料金の収入に関すること。
- (3)高速鉄道の乗客の接遇及び取扱い（他の所管に属するものを除く。）に関すること。
- (4)所属職員の勤務割当、業務指導及び教育訓練に関すること。
- (5)高速鉄道の駅構内の遺留品に関すること。
- (6)高速鉄道の事業上で生じた事故（当初対応）に関すること。
- (7)代替輸送の手配に関すること。

[三宮・名谷・西神中央・海岸線]

2023年度主要事業

1. 安全・安心・信頼の確保

《安全運行の徹底／安全運行を支える基盤の構築》

(1) 再発防止に向けた研修・取り組み【市バス運輸サービス課】

「4.21 三宮重大事故」を過去のものとして風化させないため、毎年4月16日～5月15日を「市バス事故ゼロ・安全安心運転推進月間」に設定し、“4月21日を忘れない取り組み”を引き続き実施する。

2022年度において、委託営業所も含めた全運転士に対して、当時の事故の状況をパネルや新聞記事等を用いて展示した研修施設「安全の礎」での研修を実施した。引き続き、2023年度においても、採用時や研修の機会等に積極的に活用することで、「二度と事故を起こさない」という意識を全ての職員に徹底する。

また、安全運行に関わる管理職等に加え、知見のある外部専門家で構成する安全対策会議において、事故分析や再発防止対策等について、多角的な視点での議論を行い、現場へフィードバックすることで、安全運行の徹底を図る。

このような安全運行に関する取り組みは安全報告書において市民やお客様に対して公表し、「見える化」を図っていく。

(2) 市バス営業所における組織風土改革【経営企画課】

市バス営業所において発生したハラスメント事案を受け、第三者の弁護士による調査や、より独立性の高い第三者調査委員会である「神戸市交通局市バス営業所における職場環境及び組織風土改善のための調査委員会」による調査に基づいて、職場環境に悪影響をもたらす不適切な行為の実態把握を行うとともに、営業所管理体制の強化や風通しのよい職場づくり等の取り組みを進めている。

2022年度中には全職員を対象としたハラスメント研修を実施したほか、2023年度は、第三者調査委員会の調査結果報告書や職場改善にむけた提言を踏まえ、さらなる組織風土改革に取り組むことにより、日本一安全・安心な公営バスの実現を目指し、引き続き風通しの良い職場づくりを進めていく。

(2022年度実施)

- ・本庁自動車部に直営3営業所を統括する部門を設置
- ・長期在籍者を中心に計画的な人事異動の実施
- ・交通局全職員に対するハラスメント研修の実施

(2023年度実施予定)

- ・バス事業現場経験のある職員の営業所長への登用
- ・本庁営業所統括部門の中央営業所への移転
- ・女性運転士の採用・配置
- ・現場職員のキャリアプランの策定・実施
- ・営業所における職場環境の改善、時間外勤務の削減 など

(3) ドライブレコーダーの更新に合わせた安全運行に対する指導強化

【市バス運輸サービス課】

現在、ドライブレコーダーの順次更新を行っており、2023年度は75台の更新を行う。ドライブレコーダーに搭載されている運転評価機能（デジタルタコグラフ）を使用した各市バス運転士の詳細な運転操作の記録と管理職等による添乗調査記録を活用して各乗務員に対して客観的なデータを示しながら、安全な運転操作に導くための指導を強化する。

(4) 新型車両の導入【地下鉄車両課】

西神・山手線、北神線の車両全編成の更新を行うにあたり、2023年度は旧北神車両分として1編成を更新することで、全車両の6000形（新型車両）への更新が完了する。

(5) 西神・山手線、北神線へのホームドア設置【施設課】

駅ホームからのお客様の転落や、車両との接触事故防止に有効なホームドアを設置しており、2023年度末までに西神・山手線、北神線全駅に設置が完了する。

ホームドア設置にあわせて、乗降口部分の床をかさ上げ、ホーム先端にゴム製部材を設置するなどして、ホームと車両の段差・すき間を縮小する。

- ・2018年度設置完了駅（1駅）

三宮駅

- ・2021年度設置完了駅（3駅）

新長田駅・西神中央駅・名谷駅

- ・2022年度設置完了駅（10駅）

新神戸駅・湊川公園駅・学園都市駅・板宿駅・西神南駅・

長田駅・大倉山駅・上沢駅・伊川谷駅・総合運動公園駅

- ・2023年度設置完了予定駅（3駅）

県庁前駅・谷上駅・妙法寺駅

(6) 地下鉄駅施設のユニバーサル対応の推進【施設課】

ユニバーサルデザインに配慮した駅施設になるように、2023年度は湊川公園駅西口エレベーター設置工事を行うほか、妙法寺駅や上沢駅のエレベーターについて、バリアフリー基準に適合したエレベーターに更新を行う。

2. 快適で質の高いサービスの提供

《快適なサービスの提供／「わかりやすさ・使いやすさ」の提供・追求》

(1) 定期券購入の利便性向上【営業推進課】

①定期券 WEB 予約サービスの導入・普及

2023年3月8日に導入した「定期券WEB予約サービス」により、新規定期券購入の際に、お客様がパソコンやスマートフォンから新規定期券購入の予約を行い、定期券発売所で並ぶことなく自動定期券発売機で決済・発券することで、新規定期券購入の利便性向上を図る取り組みを進めている。

より多くのお客様にサービスをご利用いただくため、市内高校・大学への案内送付をはじめ、引き続き様々な媒体でサービスを周知するとともに、具体的なサービスの利用方法などもあわせてPRすることで、さらなる普及に努めていく。

②自動定期券発売機の新規設置・拡充

市東部地域において、「定期券 WEB 予約サービス」をより多くの方にご利用いただき、更なるサービスの利便性向上を図るため、自動定期券発売機を新規設置・拡充する。

【設置予定駅】

- ・新規設置：2台（設置候補－JR 六甲道駅・阪急六甲駅周辺）
- ・拡充：1台（阪神御影駅周辺）

(2) インバウンドを見据えたクレジットカードタッチ決済の対応検討【経営企画課】

神戸空港の国際化や大阪・関西万博の開催などによるインバウンド増加も見据え、地下鉄改札機でのクレジットカードやQRコードによる決済に向けたシステム開発を行う。

なお、取り組みにあたっては、2022年11月に設置された「関西MaaS協議会」とも連携していく。

(3) 地下鉄ポイントサービスの導入【経営企画課】

より便利なサービスとして、またIC化率の向上を目的に、2024年度中にICカードを活用した地下鉄ポイントサービスを導入することを目指して、システム開発を行う。

導入にあたっては、地下鉄の乗車券や割引サービスの在り方を総合的に見直し、分かりやすく使いやすいサービスへと再編を図るとともに、他の民間交通事業者とのシームレスな連携を行っていく。

(検討の方向性)

- ・回数券、New U ラインカード⇒地下鉄ポイントサービスへの移行
- ・地下鉄磁気定期券⇒IC 定期券への移行
- ・共通ポイントの導入
- ・利便性の高い新たなサービスの導入

(4) 市バスポイントサービスのさらなる周知【営業推進課】

2021年4月から市バスにおける乗車ポイントサービスを開始しており、ご利用額に応じたポイントを市バス・山陽バスの乗車時にご利用いただける制度として引き続き運用するとともに、さらなる周知に努めていく。

(5) お客様サービス・接遇の向上【市バス運輸サービス課・地下鉄運輸サービス課】

市バスでは、お客様から寄せられるサービス・接遇に関するご意見やご要望を分析し、市バス各営業所間で情報共有するとともに、対応を協議検討し、市バス全乗務員に周知する。また、乗務員研修等で、自動車運転士ハンドブックにもとづいた接遇教育を引き続き行う。さらに、管理職による添乗調査の結果に基づいた個別指導を強化するとともに、優良運転士には、表彰制度（グッドドライバー賞）や「サンキューカード」の交付によりモチベーションアップを図る。

地下鉄では、市バスと同様にお客様からのご意見等を逐次共有して改善に生かすとともに、外部講師による接遇研修、定期教育訓練における接遇研修を引き続き実施し、市バス・地下鉄とも一層のサービス・接遇の向上を図る。

(6) 地下鉄駅出入口への大型サイン（ロゴマーク）設置【施設課】

地下鉄駅の地上出入口に、デザイン性にも配慮した共通デザインの大型サインを設置することで、駅の出入口をわかりやすくし、利便性の向上を図る。

2021年度より整備を開始しており、2022年度は西神・山手線に設置完了し、2023年度中の海岸線の設置完了に向けて引き続き設置工事を進める。

(7) バスの行先表示やバス停名の改善【市バス運輸サービス課】

観光のお客様や不案内なお客様にとってわかりやすい案内表示とするために、下記の通りバス停名の変更を行った。

【停留所名称の変更】

変更前	変更後	バス停が所在する路線名
中之島	県立兵庫津ミュージアム前	3系統

(8) ホームページのリニューアル【経営企画課】

お客様にとって、わかりやすく、アクセスしやすい案内の充実や情報発信を行うため、サイト構成を見直し、使い勝手・使い心地の良いホームページへリニューアルする。

「Urban Inovation KOBE」を活用した実証実験の結果を踏まえ、乗換案内や運行ダイヤなど、多くのお客様が求める情報に簡単に早くアクセスできるように改善することで、お客様満足度をさらに高め、市バス・地下鉄の利用促進を図る。

3. 「市民の足」の確保

≪ 「市民の足」の確保・維持／もっと乗っていただける公共交通の実現 ≫

(1) 『実証実験 三宮・エリア110』の継続【経営企画課】

都心の回遊性向上及び市バス乗車機会の拡大を目的に、三宮都心部において、エリア内の市バスをICカードでご乗車いただいた場合に、大人料金を半額の110円に割引する「実証実験 三宮・エリア110」を2023年度も継続実施する。

(目標利用人数：2024年度までに年間26万人(1日あたり700人)のご利用)

より多くの方にご利用いただけるよう、ビジネス利用者や若者といったターゲットの利用シーンに応じた広報戦略を展開する。

(2) 海岸線中学生以下無料化の本格実施【営業推進課】

既設インフラの有効活用による地域活性化及び沿線地域への若年世代・子育て世帯の交流・流入・定住促進による乗客増を目的として、2017年7月より実施している地下鉄海岸線中学生以下無料化社会実験について、2023年度から本格実施に移行する。また、マイナンバーカードを活用し、自宅でも申込できる仕組みを構築し、さらなる利便性を向上する。

(3) お客様の意見の積極的な収集【市バス運輸サービス課】

市バスホームページのお問合せフォームにアクセスできる「QRコード」を主要停留所や車内に設置している「お客様の声ハガキ」に掲出し、積極的に意見や要望を募る。さらに、いただいた意見やご要望を活用し、サービスの充実を図る。

(4) 2タッチデータを活用した試験運行【経営企画課・市バス運輸サービス課】

2022年7月に開設した中央区役所・中央文化センターへのアクセス向上にむけて、「国香通5丁目」を通るルートでの試験運行を実施する。なお、試験運行後、乗降データのご利用状況を踏まえて以降の運行について検討を行う。

(5) バス路線の変更等【市バス運輸サービス課】

系統	運行区間	内 容	備考
7	神戸駅前～市民福祉交流センター前	「三宮駅前(東行)」バス停の廃止	三宮再整備事業に伴う変更
18	JR 六甲道～三宮駅前(三宮駅ターミナル前)	復路終点バス停を「三宮駅前」から「地下鉄三宮駅前」に変更	
25	森林植物園前～三宮駅前(三宮駅ターミナル前)	復路終点バス停を「三宮駅前」から「三宮センター街東口(南行)」に変更	
64	神戸北町～三宮駅前(三宮駅ターミナル前)	復路終点バス停を「三宮駅前」から「地下鉄三宮駅前」に変更	
100	JR 六甲道～日赤病院前～JR 六甲道	JR 六甲道を起終点とした循環運行に変更	

(6) 摩耶山（まやビューライン）・六甲山（六甲ケーブル）等への輸送力強化

【市バス運輸サービス課】

2021年度から運行を開始した三宮駅ターミナル前から摩耶ケーブル下までの急行便、JR 六甲道から六甲ケーブル下までの急行便を引き続き運行する。

系統	運行区間	内 容	備考
18 系統 急行便	三宮駅ターミナル前～地下鉄三宮駅前～新神戸駅前～摩耶ケーブル下	三宮から摩耶ケーブル下までの急行バスをまやビューラインの運行に合わせて運行し、摩耶山への観光客のアクセスの利便性向上を図る。 金土休：往路 5 本、復路 4 本	2023年4月28日～5月7日、7月22日～11月26日
106 系統 急行便	JR 六甲道～阪急六甲～六甲ケーブル下	JR 六甲道、阪急六甲から六甲ケーブル下への急行バスを運行し、六甲山への観光客のアクセスの利便性向上を図る。 平土休：往路 10 本、復路なし（多客時は 16 系統で対応）	

(7) エコファミリー制度、エコショッピング制度の継続【経営企画課】

マイカー利用から公営交通利用への転換促進と子育て支援を図るため、土・日・祝日、夏季期間、年末年始に大人が同伴する小学生以下の料金を2人まで無料にするエコファミリー制度を引き続き実施する。

また、市バスまたは地下鉄を利用して提携した店舗や施設での催し等に出かけていただいたお客様に割引などのサービスを提供するエコショッピング制度についても引き続き実施する。

4. 神戸のまちづくりへの貢献

《公営交通としてまちづくりに貢献／市バス・地下鉄の連携、シームレス化》

(1) 市内公共交通サービスのシームレス化の推進【経営企画課】

市バス普通区 IC 定期券について、普通区内の神姫バスおよび PortLoop との共通利用を引き続き実施するとともに、市バスで実施している乗継割引制度の神姫バスへの導入に向けた協議・検討を進め、市内公共交通サービスのシームレス化を推進することで、市民サービスの向上を図る。

(2) 誰もが利用しやすいバス停の整備【市バス運輸サービス課】

高齢者や障がい者をはじめ、誰もが安心して移動できる環境を作るため、まちづくりの視点から、バス利用者だけでなく誰もがバス停施設を利用できるようにし、街路景観にも配慮しながら、一般会計からの支援を受けてベンチ・上屋を整備していく。

【2023年度予定】

ベンチ：150ヶ所／年程度《2023年度～2025年度》

上 屋：5ヶ所／年程度《2023年度～2025年度》

（特に良好な街路景観を求められるシンボルロードを中心に約15ヶ所を整備予定）

(3) 地下鉄駅構内の美装化・改善

① 駅舎特別清掃(壁面・床等のクリーニング)【駅務統括所】

駅はまちの玄関口であることから、駅を明るくきれいにすることで地下鉄沿線地域の価値を高め、魅力的な駅空間としていくために、これまでできていなかった構内の天井や通常清掃が困難な壁面等について一般会計からの支援を受けて特別清掃を全駅で実施する。

② 駅トイレのイメージアップ改修【施設課】

お客様の利便性・快適性向上のため、西神・山手線において、トイレの内装改修を実施する。また、海岸線を含めた全駅において、現在ある和式便器をすべて洋式便器に置き換えるとともに温水洗浄便座の設置を、乗降客数の多い駅順に2023年度から2025年度の3か年で実施する。

③ 内照式広告のLED化【営業推進課】

駅の内照式広告のLED化を行うことで、駅構内の照度アップによる明るい駅舎を実現するとともに、広告価値の向上や電気代の削減に取り組む。なお、空き広告枠には市政広告を掲載し、イメージアップを図っていく。

(4) 西神・山手線拠点駅(名谷・西神中央・新長田・三宮・板宿)のリノベーション

① 名谷駅ビルのリニューアル及び拡充【営業推進課】

「リノベーション・神戸」の一環として、名谷駅ビルのリニューアルにあわせ、駅北側の隣接するスペースに新たな施設(北ゾーン)を整備し、テナント再編等による魅力的な利便施設(「tete名谷」)の拡充に取り組む。

また、駅前のバスターミナルは駅や沿道の商業施設のご利用者等、多くの人が行き交うため、バス停上屋を拡張することで歩行者空間の高質化を図る。

2023年度：「tete名谷」北ゾーンオープン、
既存駅ビルリニューアル工事着工
バスロータリー上屋工事着工

2024年度：既存駅ビルリニューアル完成

2025年度：バスロータリー上屋完成

② 西神中央駅リニューアル【施設課】

西区の中心かつ玄関口として、成熟した街・落ち着いた雰囲気醸成を図るため、2025年3月の完成に向けて、駅構内のデザイン改修の設計を実施する。

③ 新長田駅リニューアル【施設課】

西神・山手線のテーマカラーである「緑」を要所に配置したデザインで、従来の暗い駅空間のイメージを一新し、未来的で明るい駅空間に変えていく。2024年3月の完成に向けて工事を進める。

④三宮駅東コンコースリニューアル【施設課】

都心三宮再整備事業および「さんちか」のリニューアルに合わせて、西神・山手線三宮駅東コンコースのデザイン改修・トイレのリニューアル工事（スペース拡大・機能向上等）を2023年度から2024年度夏頃にかけて行い、都心三宮の拠点駅としての魅力向上を図る。

⑤板宿駅リニューアル【施設課】

開業から45年を経て駅施設の老朽化が進んでおり、山陽電鉄との乗換え駅でもある板宿駅についてリニューアルを行う。3月～4月の約1か月間、デザイン案の市民投票を実施し、2025年度末のリニューアル工事完成に向けて、デザイン改修の設計を進める。

(5) 水素バス（燃料電池バス）の運行【市バス運輸サービス課・市バス車両課】

水素スマートシティ神戸構想を掲げているなか、水素社会の推進に貢献するため、CO₂や環境負荷物質を排出しないクリーンな水素バス（燃料電池バス）を導入した。

2023年4月より7系統（神戸駅前～市民福祉交流センター前）で運行しており、イベントの実施や車内での動画放映等により、市民への周知を図る。

(6) 西神車庫用地の利活用【経営企画課】

北神線の市営化による現在の3車庫体制（名谷、西神、谷上）について、車庫運用の最適化等により名谷、谷上の2車庫体制とする。今後、廃止する西神車庫用地の一部を有効活用して、西神中央エリアの活性化を図り、リノベーション神戸を推進していく。

2022年度においては、サウンディング調査等を開始し、2023年度は、土地利用計画の策定を行うとともに、車庫縮小に伴う鉄道施設改修の設計を進める。

- ・2025年度当初：西神車庫の廃止
- ・2026年度以降：利活用の実施

(7) 伊川谷用地の利活用【営業推進課】

伊川谷エリアの活性化に寄与するため、人口誘引施策として伊川谷駅南側の所管用地の活用方法を見直し、集合住宅等の誘致を検討する。

- ・2023年度：都市計画変更、事業者公募、選定
- ・2024年度以降：選定事業者による設計・工事着工

(8) 海岸線の集客増対策や地域活性化への貢献【営業推進課】

沿線に人が集まり、地域が元気になるよう、地域の活性化や応援を図る取り組みを他部局や地域のキーパーソンと連携して実施し、乗客増につなげる。

また、2022年度にグランドオープンした兵庫津ミュージアムや、こべっこランド・こども家庭センター、外来生物展示センターなど、沿線施設への新たな人の動きに応じ、テーマに合ったふさわしい駅の雰囲気づくりを進めていくとともに、企画乗車券の発売やイベントなど連携事業を実施し、海岸線の魅力向上とPRを図る。

(9) 北神地域活性化への貢献【営業推進課】

谷上駅周辺の店舗や神戸電鉄との連携を一層深めていくことで、谷上駅の拠点化、北神地域の活性化に貢献していく。乗車券と地域の飲食店や施設で利用できる金券・優待券がセットになった「有馬グルメ&湯けむりチケット」「有馬温泉太閤の湯クーポン」等企画乗車券の発売のほか、ハイキング等イベントの実施により北神地域と神戸市街地との交流を促進する。

5. 安定的な経営基盤の確立

《次世代を支える人材の確保・育成／安定的な経営を支える基盤の構築》

(1) 経営情報の発信【経営企画課】

新型コロナウイルス感染症拡大によってご利用人数が大幅に減少しているなか、より市バス・地下鉄を利用いただくため、情報発信の充実に向けて検討を行い、2022年度より交通局の経営状況や取り組みをわかりやすく伝える「交通局レポート」の発行を始めている。今後、市民・利用者のご意見等を踏まえ、市民目線で情報発信に関する工夫を行っていく。

(2) 市バスご利用状況の見える化【経営企画課】

市バスのダイヤについては市民と共に考えていくことが重要であることから、客観的なご利用状況を広く市民と共有するために、市バス1便ごとの平均車内人数や停留所ごとの乗降人数がわかるデータサイトをホームページに公表し、引き続きご利用状況の周知を進めていく。

(3) 市バス IC カード 2 タッチ化による乗降データの活用とデータに基づく持続可能な路線バス網の構築に向けた取り組み【経営企画課】

市バス IC カード 2 タッチ化によって得られた乗降データを活用して、2021年度に策定した「データに基づく持続可能な路線バス網の構築に関する基本的な考え方」に基づき、新長田バスロータリーの整備に伴う新長田駅を中心としたバス路線の再編など、より多くの方にご利用いただけるような効率的・効果的なバス路線やダイヤとなるよう検討を進めていく。

(4) 女性運転士の採用【経営企画課】

女性運転士を積極的に採用していくため、女性限定の募集や女性採用枠を創設する。また、より多くの女性にご応募いただくために市バス営業所内に女性専用の休憩室スペースを改修している取り組みや短時間勤務制度、出産・育児の両立を応援する各種制度があることなどを採用ホームページや職場見学会、就職説明会等の場で積極的に広報していく。

(5) 将来の公共交通を担う人材の確保・育成【経営企画課】

将来の公共交通事業の中核を担う職員の人材登用として、2022年度より交通事業に専属で従事する一般行政職員の採用を開始しており、2023年度も引き続き募集を行う。

また、市民の足として安定的な運行を継続していくため、安全意識やサービス向上を目的とした研修や、現場の管理監督業務に従事する職員を対象とした研修などに取り組む。

(6) 附帯事業収入の拡大【営業推進課】

広告料収入の拡大や駅舎のイメージアップに向けて、乗客数の多い三宮駅において、駅施設のリニューアル工事にあわせてデジタルサイネージを設置する。2023年度は1番線ホーム（新神戸・谷上方面）に柱サイネージの設置を行う。

また、コロナ禍で厳しい状況にある駅構内店舗について、新たな事業者の公募を実施し、駅の利便性を確保していく。

(7) 乗客増対策の推進

【経営企画課・営業推進課・市バス運輸サービス課・地下鉄運輸サービス課】

民間事業者と連携した利便性向上策など、新たな乗客増対策を検討・実施するとともに、引き続き、沿線地域の企業や店舗と連携したイベントの実施など乗客増対策を実施・検討する。

- ・市街地中心部における移動利便性の向上策（三宮・エリア110）の実施（再掲）
- ・地下鉄ポイントサービス導入による利便性の向上（再掲）
- ・摩耶山・六甲山等への輸送力強化のための急行バスの運行（再掲）
- ・海岸線及び北神線の乗客増対策の実施（再掲）
- ・拠点駅のリノベーションや保有用地の利活用（再掲）
- ・スマホアプリを活用した乗車券やイベントの実施
- ・スタンプラリーや謎解き等沿線地域への周遊性を持たせたイベントの開催
- ・アニメやゲーム等民間コンテンツとタイアップしたSNSキャンペーン等
- ・沿線スポーツチームと連携した企画の実施

(8) 市バス・地下鉄のダイヤ調整【市バス運輸サービス課・地下鉄運輸サービス課】

市バスでは、ICカード2タッチ化による乗降データを活用して、運行状況に即した一部ダイヤ調整を行う。地下鉄では、2023年8月に谷上車庫を休止させることに伴う列車の運用変更に合わせて、ラッシュ時間の混雑緩和や一部の列車の運行区間を変更する。

(9) 市バス営業所の管理委託の継続【市バス運輸サービス課】

市バス事業における経営改善策として営業所の管理委託を継続する。なお、中央南営業所については、提案競技を踏まえ、2023年8月から5年間の次期受託事業者として神姫バス(株)を選定した。

(現在の委託状況)

委託営業所	受託事業者	期間
魚崎営業所	阪急バス(株)	2022年度～2026年度
松原営業所	阪急バス(株)	2022年度～2026年度
落合営業所	神姫バス(株)	2022年度～2026年度
西神営業所	神姫バス(株)	2022年度～2026年度
中央南営業所	神姫バス(株)	2018年度～2023年度
清水が丘営業所	山陽バス(株)	2020年度～2024年度